

臨床研究 「麻疹風疹ワクチンの反応性を規定する遺伝要因の探索」について

筑波大学医学医療系遺伝医学では、表題の臨床研究を実施しております。

本研究の概要は以下のとおりです。

① 研究の目的

私たちは B 型肝炎ワクチン有効性と関わる遺伝要因の研究を行ってきました。ワクチンに対する有効性を規定する遺伝要因の中で、ワクチン種に関わらず共通のものと、ワクチン種により異なるものがあるのではないかと考え、麻疹風疹ワクチンの有効性と関連する遺伝要因の探索と、同定された遺伝要因が B 型肝炎ワクチンの反応性と関連するものと共通するか否かを検討します。

② 研究対象者

2013 年 5 月 27 日から 2018 年 1 月 1 日までに「B 型肝炎ワクチン接種後の抗体獲得に寄与する遺伝子型を同定する」の研究に同意・参加いただいた方のうち、研究後の検体保存および二次利用（研究が発展した場合、この研究に関連して倫理承認を受けた新規研究への利用）について同意をいただいていた研究参加者様

③ 研究期間：倫理委員会承認後～2025 年 3 月 31 日

④ 研究の方法

提供いただいた血液から前回の研究の際に抽出・保存された DNA を用いてゲノムワイド関連解析（GWAS）を行い、残余血清で測定した麻疹風疹ワクチン抗体価と関連する遺伝要因を探します。麻疹風疹ワクチン抗体価と関連する遺伝要因が B 型肝炎ワクチン効果と関連するものと同じものか、異なるのかについて前回研究結果と比較します。

研究実施に当たり、すでに氏名などの個人情報を除いた匿名化番号を用いて行い、検体・抗体価等の情報・研究結果は、厳重に保管します。

⑤ 試料・情報の項目

保存された DNA、血清

⑥ 試料・情報の管理について責任を有する者

DNA・血清と抗体価・遺伝子多型に関する情報の管理は筑波大学医学医療系遺伝医学 野口恵美子が行います。

⑦ 研究機関名および研究責任者名

筑波大学医学医療系遺伝医学 研究責任者 野口恵美子

⑧ 本研究への参加を希望されない場合

本研究への参加を希望されず、試料・情報の利用または提供の停止を希望される場合は、下記の問い合わせ先へご連絡ください。すでに研究結果が公表されている場合など、ご希望に添えない場合もございます。

⑨ 問い合わせ連絡先

筑波大学医学医療系遺伝医学：

〒305-8575 茨城県つくば市天王台 1-1-1

所属・担当者名：医学医療系遺伝医学 野口恵美子

enoguchi@md.tsukuba.ac.jp